舞鶴市ボランティアセンター

令和３年７月７日発行

ボランティアだより

お知らせ　令和３年度のセンター事業が決定しました！

第９６号

月	令和３年度センター事業	その他の関連事業
４月		「舞鶴市社協かがやくボランティア」ほか各種補助金案内
５月		
６月	福祉施設に綿布を贈る活動	
７月	ボランティアだより発行	
８月	ふれあいバザー（中止）	
９月	ボランティアだより発行	京都府社会福祉大会（表彰）
１０月		身体障害者交流運動会（協力）３日
１１月	福祉施設に綿布を贈る活動 24 日 ボランティア活動フォーラム	ふれあいレクリエーション（協力） きょうと地域福祉実践交流会
１２月	ボランティアだより発行	歳末ボランティア実践 障害者ふれあい行動デイ（協力）
１月		
２月	ボランティア・市民活動の芽を育てる事業 （ボランティア体験教室）	ボランティア保険の加入案内
３月	まいづるボランティアだより発行	舞鶴市社協かがやくボランティア活動事業補助金交付

「ふれあいバザー」の中止について

毎年８月に開催しています「ふれあいバザー」ですが、新型コロナウイルス感染症の影響で、中止となりました。直前まで開催を模索していましたが、現在の状況では、開催できないと判断しました。２年連続で開催中止となり、非常に残念ですが、現在の状況が落ち着き、来年こそは開催したいと思っています。

お知らせ

ボランティア保険の加入について

毎年加入案内をしていますボランティア保険ですが、令和３年度より、新型コロナウイルス感染症の対応（死亡保障を除く、後遺障害、入通院保険金）が可能な保険代理店に変更しています。安全・安心にボランティア活動をするためにも保険の加入をおすすめしています。ボランティアセンター登録グループ（NPO 法人以外）は１００円（２５０円のうち１５０円は市と社協の補助）で加入できます。加入がまだのグループや個人の方はご検討ください。

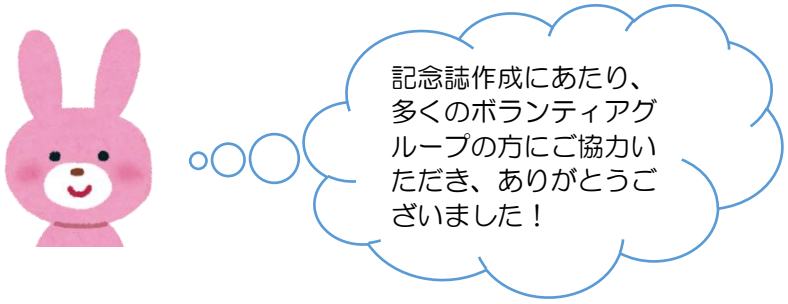
お知らせ

舞鶴市ボランティアセンター開設４５周年記念

ボランティアまいづる PART８を発行しました

舞鶴市ボランティアセンター開設４５周年を記念して、「ボランティアまいづる」PART8 を発行しました。今回の記念誌では、センター登録グループの紹介をメインに、ボランティア活動の心構えやポイント、舞鶴災害ボランティアセンターの説明、センターの事業紹介をしています。

ホームページにも記載しておりますので、ぜひご覧ください。



報告

福祉施設に綿布を贈る活動を実施しました！

６月２２日（火）に１３回目となる綿布を贈る活動を実施し、3,381 枚の綿布をお寄せいただき、翌日には、福祉施設へ贈ることができました。今回は新聞の折り込みチラシに記載するなど、広報をより一層強化し、過去最多となる綿布が集まり、中には、学校や企業などからの寄付もありました。綿布を受け取った福祉施設の方は大変喜ばれていました。コロナ禍ですが、多くの方にご協力いただき感謝しています。本当にありがとうございました。

ボランティアによる綿布仕分けの様子

過去5回の綿布の枚数

令和3年6月（第13回目）3，381枚※今回
令和2年11月（第12回目）2，281枚
令和2年6月（第11回目）2，088枚
令和元年11月（第10回目）1，393枚
令和元年6月（第9回目）1，414枚
過去5回の累計 10,557 枚

10 施設へ
贈りました♪

企業による綿布寄付

- **第一生命保険株式会社 様**
- **京都北都信用金庫 様**

次回は 11 月24日（水）を予定しています！

報告　緊急事態宣言下で企業によるボランティア活動の紹介

２回目の緊急事態宣言下の２月３日、ボランティアセンターに飲食店「オーバータイム」の方が来訪されました。「飲食店の営業時間短縮要請に伴い、お店を休業するため、その時間を使って、子どもたちのために何かできることはないか。」との相談があり、飲食店のノウハウを生かしたボランティア活動を協議し、児童養護施設の舞鶴双葉寮の子どもたちへ手作りたこ焼きを無償で提供することになりました。

２月１４日、双葉寮の子どもたち４５人全員にあたたかい気持ちのこもった手作りたこ焼きをプレゼントされました。双葉寮の仙田寮長をはじめ、子どもたちは笑顔で喜ばれていました。

この活動は、３回目の緊急事態宣言下の５日５日（こどもの日）にも同様の活動を双葉寮で実施されました。

コロナ禍で多くの人が苦しい中、こんな時だからこそ何か人のためにできることはないかというオーバータイムさんの熱い想いに心が動かされました。

ご案内　地域支えあいサポーター登録者募集

地域支えあいサポーターとは地域で見守りが必要な方の孤立を防ぎ、誰もが安心して暮らせる地域づくりのために、身近な地域での声かけや見守り、依頼があれば簡易な生活支援によって支えあい活動を行うボランティアです。現在、舞鶴市内で６７名の方に登録いただいています。

最近は特に、高齢の方が一人でゴミ出しに行けないケースの依頼が増えています。

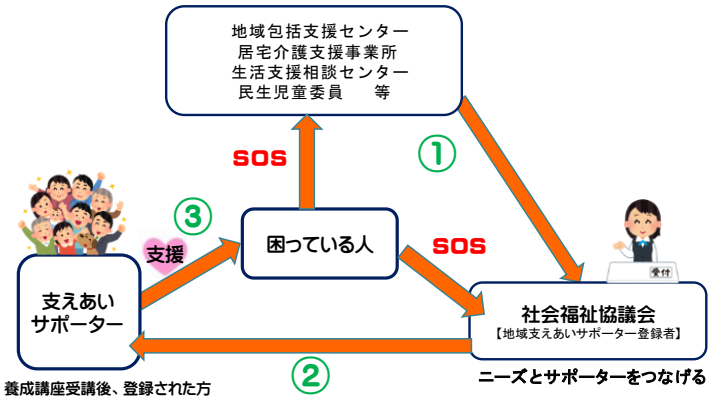
地域の皆さんが安心して暮らせるまちを目指して、支えあい活動をはじめませんか？

実践例

① 高齢・障がいのある方への可燃・不燃のゴミ出しのお手伝い

② 安否確認を兼ねて、ひとり暮らし高齢者宅へ訪問してお話相手

サポーター活動の流れ



地域支えあいサポーターに興味のある方は舞鶴市社会福祉協議会（62-7044）までご連絡ください

お願い　福祉送迎ボランティア大募集！

舞鶴市社会福祉協議会では、ボランティアの協力を得ながら、日常生活で移動手段の確保が困難な方の外出を支援しています。

興味のある方は
社会福祉協議会まで
ご連絡ください♪

① ボランティアの要件

自動車免許を取得してから３年以上の方で、かつ過去３年間運転免許停止処分を受けていないこと。利用者の安全を確保できる７０歳未満の方。

② 活動時間

週に１～２回程度（土日祝、年末年始を除く）

※詳しくは舞鶴市社会福祉協議会（６２-７０４４）までご連絡ください。

福祉送迎車両へ乗り込む様子

お知らせ　センターに新たな仲間が２グループ加わりました！

ほっこり　（代表 馬場　眞由美 氏）

ほっこりステーションで障がいの方の軽作業や作品作りの手伝いをしています。その他に施設での行事等にも参加し、利用者との交流をしています。会話や関わりを通して、少しずつ利用者の方との関係もできているので、今後も継続して自分たちのできることをしていきたいです。

センターへの新規登録は随時受け付けています。登録されるとボランティアに関する有意義な情報発信（研修、助成金、保険）や活動者との交流など、楽しいイベントもあります♪

まいづるダブルケアの会　えくぼ（代表 小野　範子 氏）

「育児」と「介護」を両立することを**「ダブルケア」**と言います。「友達に育児の相談はできても、介護の相談はできない」そんな声から、この会が生まれました。育児と介護のダブルケアラーさんだけでなく、これから介護が始まるかもしれない若い世代の方や介護に興味のある方も気軽に参加できる会です。ダブルケアカフェや介護の学習会などを予定しています。

発 行者　舞鶴市ボランティアセンター（舞鶴市社会福祉協議会内）
住　所　〒625-0087　舞鶴市字余部下 1167　中総合会館 3 階
電　話　62-7044・65-0058　FAX　62-7039
E-mail　maizuru-shakyo@jasmine.ocn.ne.jp
ホームページ　http://www.kyoshakyo.or.jp/maizuru/